

2023年2月15日

スポーツを通じて未来人材の成長を支援するチャレンジ支援事業
「YMFS スポーツチャレンジ(体験／研究)助成」
2023年度(第17期生)助成対象者31件を決定

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(Yamaha Motor Foundation for Sports)は、2023年度(第17期生)「YMFS スポーツチャレンジ(体験／研究)助成」について、体験助成15件、研究助成16件、計31件(総額3,013万円)の助成対象者を決定しました。助成金贈呈式は、2023年3月末に実施します。

本助成制度は、目標を掲げ達成に至るまでのプロセスを重視し、四半期報告、中間報告会、成果報告会によるPDCAサイクルを実践しながら、高い専門性を持った審査委員からのアドバイスや助成対象者間での異分野交流など、成長機会を提供する支援プログラムが特徴です。

近年は、オンラインを活用し助成対象者同士による交流機会を増やしてきましたが、2023年度も同様に、助成対象者が学び・刺激し合える機会を提供するなど、チャレンジを加速するサポートを提供します。

2023年度(第17期生)の助成概要 ※活動期間は、2023年4月から2024年3月

プログラム	申請件数	採択件数	助成金額(計)
スポーツチャレンジ体験助成	42件	15件	1,499万円
スポーツチャレンジ研究助成	46件	16件	1,514万円
計	88件	31件	3,013万円



※この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。(担当: ^{みすみ}三角)

2023年度(第17期生)スポーツチャレンジ体験助成 対象者一覧 (2023年2月1日現在)

「体験助成」は、アスリート・指導者・審判など各種体験活動に対して助成金を交付するもので、3つのカテゴリーで構成しています。

- ジュニア(上限 50 万円):ジュニア世代の国際大会で実績を有する者
- ベーシック(上限 100 万円):国際レベルでの活躍を目指す者
- アドバンスド(上限 150 万円):国際レベルの実績を有する者

※五十音順

区分	氏名(年齢)	種目	チャレンジテーマ	所属
ジュニア	おおしま あかり 大島 朱莉(14)	ウインドサーフィン/選手	ユースオリンピック出場に向けて、ユースワールドで経験を積み、表彰台を目指す	立命館守山中学校
	ちば もね 千葉 百音(17)	フィギュアスケート/選手	技術の向上に加え、奥行きのある表現を探求し、2026年冬季五輪を目指す	東北高等学校
	のぐち りゅう 野口 颯(15)	ウインドサーフィン/選手	ユースワールドチャンピオンになり、シニアワールドクラスを制する	Starboard Japan team 日本ウインドサーフィン協会
ベーシック	いとう まりん 伊藤 真凛(18)	フリースタイルスキーモーグル/選手	自身の活躍を通じて、モーグル競技の知名度向上や競技人口増加を牽引する	クラーク国際高等学校
	くぼた まちこ 久保田 真知子(19)	スキージャンプ/選手	2026 ミラノオリンピック出場、表彰台を目指す	早稲田大学 スポーツ科学部
	さいとう はな 齋藤 華南(20)	フェンシング(エペ)/選手	パリ五輪出場を目指し、世界ランキングを上げる	専修大学 体育事務課
	さとう ひめか 佐藤 姫夏(21)	トライアスロン/選手	果敢な挑戦を貫いて、ロサンゼルス五輪で表彰台を目指す	敬愛大学 国際学部
	たきざわ ゆうじん 瀧澤 勇仁(16)	レスリング/選手	年代別世界選手権で優勝し、2027年シニア世界選手権での優勝を目指す	慶應義塾高等学校
	ながせ りの 長瀬 凜乃(17)	フェンシング(フルール)/選手	ロス五輪出場を目指し、ジュニア及びシニアカテゴリーで日本代表に定着する	岐阜県立岐阜総合学園 高等学校
	よしだ はな 吉田 陽菜(17)	フィギュアスケート/選手	四大陸選手権等の国際大会で表彰台を目指すし、2026年冬季五輪に出場する	木下アカデミー
アドバンスド	かなざわ のあ 金澤 野愛(20)	スノーボードアルペン/選手	ワールドカップ入賞、2026年ミラノ五輪出場	中京大学 スポーツ科学科
	さきき かずも 佐々木 颯杜(16)	アイスホッケー/選手	NCAA から北米プロリーグに挑戦。日本代表としてオリンピックでプレーする	アメリカ jr リーグ NAHL Chippewa Steel
	ちとうしょ ひかる 地頭所 光(26)	自動車レース/選手	世界最高峰の自動車レース、ルマン 24 時間レースでの優勝	
	ながす ももか 長洲 百香(17)	カヌースラローム/選手	ワールドカップ出場とジュニア世界選手権決勝進出	習志野市立習志野 高等学校
	なぐさ あきら 名草 慧(29)	ハンググライダー/選手	アジア人初のハンググライダー世界チャンピオンを目指して	公益社団法人 日本ハング・パラグライ ディング連盟

2023 年度(第 17 期生)スポーツチャレンジ研究助成 対象者一覧 (2023 年 2 月 1 日現在)

「研究助成」は、スポーツにかかわる学問、研究活動に対して助成金を交付するもので、2 つのカテゴリーで構成しています。

- 奨励(上限 60 万円): 大学院博士課程に在籍中または学位未修得の若手
- 基本(上限 120 万円): 研究職として活動に従事する研究者

※五十音順

区分	氏名	分野	チャレンジテーマ	所属
奨励	いけがみ のどか 池上 和	自然科学	成長期アスリートの競技種目が骨発育に与える影響	早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科
	かち ともや 加地 智哉		機械学習とデジタルヒューマン技術を活用した 少数の慣性センサによる水泳運動計測システムの開発	鹿屋体育大学大学院 体育学研究科
	ののやま しゅんや 野々山 隼弥		慢性足関節不安定症に対する感覚運動循環システムの 機能改善に焦点を当てたニューロモジュレーションの効果	立命館大学大学院 スポーツ健康科学 研究科
	やまぐち たつひろ 山口 達寛		身体不活動に伴う筋力低下の機序解明: 神経筋接合部 の機能に着目して	東京大学大学院 総合文化研究科
基本	おくだいら まさみち 奥平 証道	自然科学	超最大スピード走トレーニングがアスリートの神経系機能 と疾走動作へ及ぼす影響の検討	中京大学 スポーツ科学部
	こみや まこと 小宮 諒		Virtual reality を利用したビジョントレーニングが身体機能 と眼球運動に与える効果	広島大学大学院 医系科学研究科
	しばぐち つばき 芝口 翼		骨格筋損傷治療としての温熱刺激がもたらす生理作用の 解明	金沢大学 国際基幹教育院 GS 教育系
	せとがわ すすむ 瀬戸川 将		スキル習熟を高める脳神経活動の探索 -大規模、同時、 連続神経活動記録法を用いて	大阪公立大学大学院 医学研究科 神経生理学
	たかはし けんや 高橋 謙也		エネルギー代謝から考える中距離種目のレース戦術	東京大学大学院 総合文化研究科
	たなか たかひろ 田中 貴大		平泳ぎキックで速く泳ぐためのメカニズムを解明する-足 で作られる渦に着目して-	立命館大学大学院 スポーツ健康科学 研究科
	なるせ まさとし 成瀬 正俊		低酸素を使わない低酸素トレーニング: 自発的低換気による 間欠的スプリント能力の向上	ポール州立大学 保健学研究科
	まえお すみあき 前大 純朗		単関節運動と多関節運動による筋肥大効果の違いとその 相乗効果を探る	立命館大学 スポーツ健康科学部
	やなおか たくま 柳岡 拓磨		身体冷却効果に関する個人差の解明~運動間の休息中 に摂取するアイスラリーに着目して~	広島大学大学院 人間社会科学部
奨励	よしざわ なお 吉沢 直	人文 社会	日本のスキー場はいかに地球温暖化に対応していける か?-人工雪設備の地理学的分析	筑波大学大学院 生命環境科学研究科 地球環境科学
基本	あべ まちる 阿部 衛	人文 社会	ローマ帝政前期における競技文化に関する研究	東京大学大学院 総合文化研究科
	うえた しゅん 植田 俊		視覚を用いない(みるスポーツ)の可能性を探る実践的研 究-スポーツ・ソーシャル・ビュー開発の試み-	東海大学 国際文化学部 地域創造学科